

問題No.1

最近日本に出店したファストファッションに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. ユニクロ
2. アバクロ
3. H&M
4. フォーエバー21

【解説】

1. は最近日本に出店したものではない。

答 1

問題No.2

百貨店の提携関係に関する次の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. 高島屋 ----- そごう
2. 阪急 ----- 阪神
3. 大丸 ----- 松坂屋
4. 三越 ----- 伊勢丹

【解説】

1. 高島屋とそごうの提携関係はない。

答 1

問題No.3

電球型発光ダイオード（LED）の購買層が広がりはじめているが、LEDに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 従来の電球に比べ消費電力が小さく長持ちするため身近な省エネと支持されている
2. エコポイント対象外商品である
3. LED購入者を対象に白熱電球などを下取りするサービスを導入した
4. 価格競争が激化しはじめている

【解説】

2. エコポイント対象商品である。

問題No.4

企業における社会的責任（CSR）に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 企業は製品に問題が発生したとき、顧客に問題点を知らせる前に、いち早く問題点を解決する必要がある
2. リコールとは、メーカーや輸入業者が国土交通大臣へ、不具合な箇所をあらかじめ届け出て、該当する製品を無料で修理をする制度のことである
3. 企業は組織で運営されており、一部門で発生した問題はその部門の問題ではあるが、決定権を持つトップに最終責任がある
4. 企業は、社会活動をするに当たって人格と同様、法人格を持って社会の一員として活動しており、社会にとって有益な活動をする必要がある

問題No.5

日本のCO₂排出量のうち、建築関連から出ている割合に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 約1／2
2. 約1／3
3. 約1／4
4. 約1／5

【解説】

改訂新版・Vol. 4「商業施設・創造とデザイン」p. 345

問題No.6

次の各施設の計画と関連法規の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. シネマコンプレックス ----- 興業場法
2. ドラッグストア ----- 医療法
3. ランドリー・コインランドリー ----- クリーニング業法

4. クアハウス ----- 公衆浴場法

【解説】

規模や内容によっては適用を受ける可能性のある関連法規を列挙した。ドラッグストアでは医療法ではなく薬事法の適用対象である。

答 2

問題No.7

改正省エネ法など、企業に対して環境対応が強く求められるようになってきた。改正省エネ法に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 店舗数によりコンビニエンスストア等のフランチャイズチェーンも対象となる
2. 対象企業は、省エネ措置の届出と定期報告が義務付けられる
3. 対象企業では、企業体でのエネルギー使用量の把握が必要である
4. 改正省エネ法でのエネルギーは、太陽光発電などの自然エネルギーも対象となる

【解説】

4. 廃棄物からの回収エネルギーや、風力、太陽光などの自然エネルギーは対象とならない。

答 4

問題No.8

地域商店街活性化法に関する次の記述のうち、最も適当なものはどれか。

1. 生活者ないし住民として環境保持の観点から店舗面積ならびに閉店時刻を調整した法律
2. 市街化区域における建築の用途を定めた特別用途を骨子とした法律
3. 事業活動の促進に関する法律
4. 地域商店街の組織化に係る法律

【解説】

商店街活性化のため、地域住民の需要に応じた事業活動の促進に関する法律である。(平成21年7月15日公布、8月1日施行)

答 3

問題No.9

改正都市計画法(2007年秋施行)では、大規模集客施設(「特定大規模建築物」)の設置にあたり、用途地区が限定されている。次の記述のうち、規模10,000㎡を超えるショッピングセンター(ＳＣ)が出店可能な用途地域はどれか。

1. 近隣商業地域
2. 工業地域
3. 準住居地域
4. 非線引白地地域

【解説】

10,000㎡超の大型施設の用途地域に関する問題である。

答 1

問題No.10

「建設リサイクル法」における、分別解体及び再資源化の実施義務・対象に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 建築物の規模の大小に関わらず、解体工事のすべてが含まれる
2. 建築物の新築または増築では床面積500㎡以上が義務づけられている
3. 建築物の修繕・模様替え工事では請負金額1億円以上が義務づけられている
4. 建築物以外の工作物も対象とされている

【解説】

「建設リサイクル法」の概要の一部より。分別解体等及び再資源化等の実施義務の対象となる建設工事の規模に関する基準については、1. 建築物の解体工事では床面積80㎡以上、2. 建築物の新築又は増築の工事では床面積500㎡以上、3. 建築物の修繕・模様替え等の工事では請負代金が1億円以上、4. 建築物意外の工作物の解体工事又は新築工事等では請負代金が500万円以上、と定められている。

答 1

問題No.11

建築設計にあたって留意すべき事項に関する次の語句の組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. ユニバーサル・デザイン ----- 使いやすさ、判りやすさの追求
2. ハートビル法 ----- 省資源、省エネルギーへの対応
3. アメニティ・デザイン ----- 快適な生活環境の創出
4. バリアフリー設計 ----- 高齢者・身体障害者への配慮

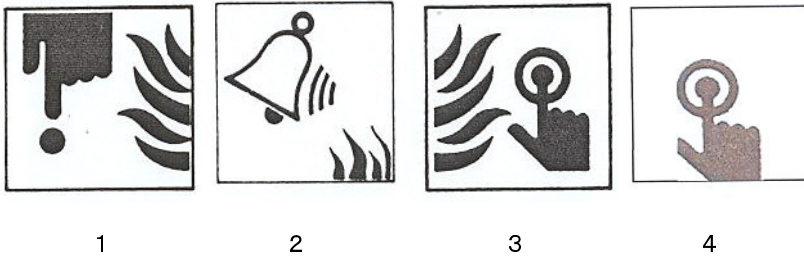
【解説】

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.329、331、332

答 2

問題No.12

公共サインは、さまざまな公共的な環境で利用されている。その場の状況（環境）によって認知できるもので、アンケート調査や分析が重要となる。次の図のうち、ヨーロッパのある施設でアンケート調査 75%の人が認めた「火災報知機」のサインはどれか。



答 3

問題No.13

照明用語に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 照度
2. 輝度
3. 彩度
4. 演色性

【解説】

彩度は色そのもののことで、特に照明と関係ない。

答 3

問題No.14

商業施設の工事監理と施工管理に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 良い施工を行うためには、設計図書に盛り込まれているねらいの品質を理解することのできる施工者を選定することが必要である

2. 工事は品質第一であり、品質管理は他の三管理（工程管理、原価管理、安全管理）より優先している
3. 契約上の瑕疵（かし）は、工事監理者にも責任がある
4. 商業施設における内装監理業務とは、複合商業施設内のテナント専門店等の設計・施工に対する工事監理業務のことである

【解説】

1. 改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.370 2.-(1)着工前の管理業務
2. 改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.371
3. 改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.373、386
4. 改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.373

答 2

問題No.15

商業統計（平成19年調査分）によると日本の小売業店舗数は減少傾向にある。次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 小売店舗数の減少については、少子高齢化、社会環境や生活環境の変化などのほかに、インターネット販売などの影響も考えられる
2. 商業統計で業種別構成比をみると、飲食料品小売業と、織物・衣服・身の回り品小売業の2業種でおよそ半数近くになる
3. 小売業の店舗数や販売面積は減少しているが、従業員数は増えている
4. 無店舗販売の事業所数・販売金額は年々増えている

【解説】

平成19年度商業統計によると、店舗数、従業員数は減少、売場面積は増加。

答 3

問題No.16

景気低迷の影響により、新たなビジネスモデルとして居抜き物件への出店が活発化している。外食産業の居抜き物件への出店によるメリットに関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 開業準備に関する初期投資の圧縮
2. 大衆チェーンの居抜きであれば比較的好立地であることが多い
3. 低賃料での出店が可能
4. 原状復旧されていないと想定以上に設備投資がかさむ場合がある

【解説】

3. 低賃料というのは実現が難しい。

答 3

問題No.17

設計段階におけるV E（バリュー・エンジニアリング）による品質維持・価値向上とその効果に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. より優れた施設機能をより安いコストで手に入れる
2. 同じコストで、より優れた施設の機能を手に入れる
3. 同じ施設機能を安いコストで手に入れる
4. 施設機能は低下するが、より安いコストで手に入れる

【解説】

4. 施設機能を低下させ、コストを下げる手法はV E手法として不適切な提案である。
改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.381～382

答 4

問題No.18

建築材料の性能とマークの組み合わせのうち、最も不適当なものはどれか。

1. 防犯性能



2. 断熱性能



3. 不燃性能



4. リサイクル



問題No.19

万国博覧会に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 1867年のパリ万国博覧会に日本初参加。幕府、薩摩藩、鍋島藩が出展した
2. 1925年のパリ万国博覧会は装飾美術工芸展で、アール・デコが特徴であった
3. 1970年の日本万国博覧会は「月の石」が人気を集め、約6,400万人が入場した
4. 2000年のハノーバー万国博覧会のテーマは「よりよい都市、よりよい生活」であった

【解説】

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.128～129

問題No.20

商業施設計画に関する次の記述のうち、最も不適当なものはどれか。

1. 基本構想計画段階の商業運営、管理マネジメント分野では、市場調査やプランニングに基づき事業収支計画や資金計画、経営方針などを決定していく
2. 実施計画段階の建築、設備マネジメント分野では、基本計画から基本設計、さらに実施設計を通して工事契約を経て着工する
3. テナント誘致は、商環境計画の段階で作成されたコンセプトに基づいて誘致活動に入っていくものである
4. POSシステムとは、PLACE OF SALESの略で売り場での売上げを上げるためのシステムである

【解説】

4. POSシステムとは、POINT OF SALESの略で、販売時点での情報管理システムのことである。

改訂新版・Vol.4「商業施設・創造とデザイン」p.223